

陸奥湾湾口周辺海域のイカナゴ稚仔分布調査結果について

調査は、令和4年2月10-11日及び3月11-13日に陸奥湾湾口周辺海域の12地点で、試験船・青鵬丸(65トン)でボンゴネット往復傾斜曳(水深0-50m)により実施しました。その結果、主要調査地点(St. 3、4、8、9、11、12)における3月の平均稚仔分布密度は0.002個体/m³で、2月調査時の平均稚仔分布密度0個体/m³よりも高い値でした(図1)。また、主要調査地点の2-3月平均稚仔分布密度は0.001個体/m³で、低い水準であると考えられた昨年の0.001個体/m³と同水準の低い値でした(図2)。(担当：資源管理部)

※令和4年度の陸奥湾湾口周辺海域のイカナゴ漁は、操業自粛が決定しています。

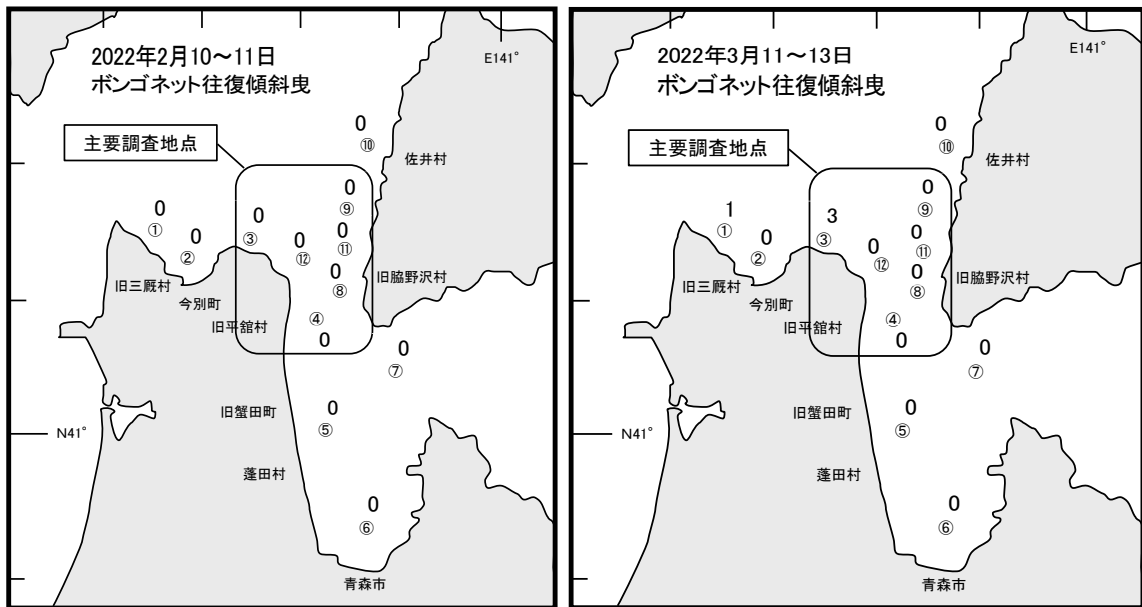


図1 イカナゴ稚仔魚分布密度調査結果(左：2月調査、右：3月調査)
(単位：個体/100m³)

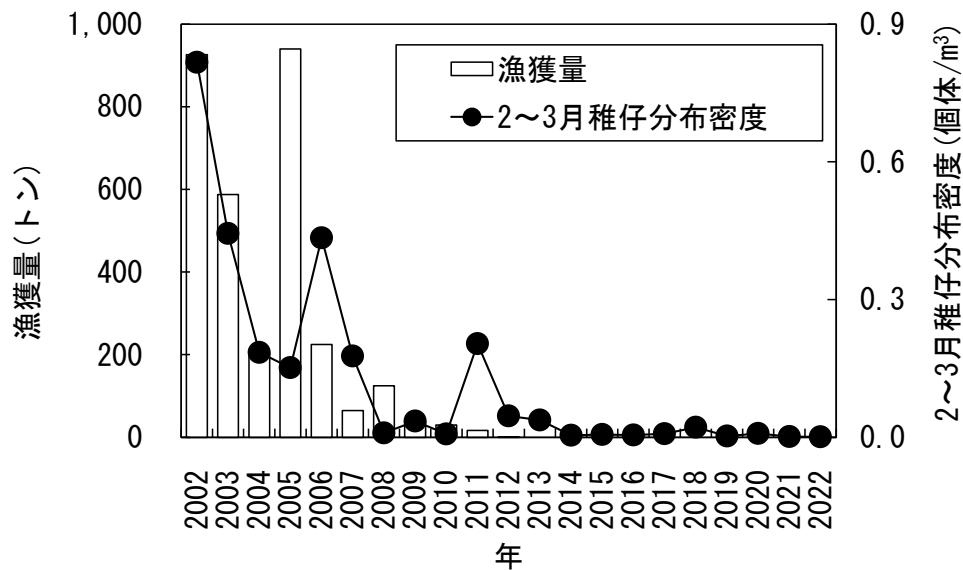


図2 イカナゴ漁獲量(外ヶ浜町～佐井村)と稚仔分布密度(主要調査地点平均値)の年推移